スマート・ストレージ

ScanSnap 活用ガイド

目次

第1章　はじめに..... 2
本書の読み方について..... 2
『スマート・ストレージ』とは..... 2
動作対象機種(2025 年 6 月現在)..... 2
機能概要..... 2
注意事項..... 2

第2章　ScanSnap 連携設定方法..... 3
前提条件..... 3
ScanSnap 本体の準備..... 3
事前準備..... 4
ScanSnap 連携を解除する場合..... 6
ScanSnap Home プロファイル設定..... 7

第3章　スキャン方法..... 11
ファイル管理ツールからスキャンする場合..... 11
ScanSnap Home からスキャンする場合..... 13
ScanSnap Home でスキャンした結果の保存先..... 14

第4章　ScanSnap 活用事例..... 15
会計事務所でのペーパーレス化..... 15
顧問先共有フォルダを経由したデータの受け渡し..... 15
e-PAP 財務会計システム／通帳・レシート AI-OCR 機能の活用..... 15

第 1 章 はじめに

この度は『スマート・ストレージ』をご利用いただき、ありがとうございます。
本書では、『スマート・ストレージ』から ScanSnap を利用する際の手順、知っておいていただきたいことを説明しています。お客様の目的にあった章をご参照ください。

本書の読み方について

・エッサム ID とは、エッサムが提供するサービスを利用するために必要な ID のことです。(今までは、広場 ID/集い ID と呼んでいました。)すでにご利用いただいている広場 ID/集い ID は、手続きなくそのままお使いいただけます。
・本書では「ScanSnap Home」アプリを使って説明しています。

『スマート・ストレージ』とは

『スマート・ストレージ』とは、クラウドを利用した共有ストレージサービスです。インターネットが利用できればどこでもファイルの参照、更新ができます。
顧問先ごとにフォルダのアクセス権が設定できるため、セキュリティを確保した上で顧問先とのファイル共有が簡単にできます。
『スマート・ストレージ』のプラットフォームには Microsoft Azure を採用しているため、災害や事故に強いサービスとなっています。

動作対象機種(2025 年 6 月現在)

ScanSnap iX2500、ScanSnap iX1600、ScanSnap iX1500、ScanSnap iX1400、ScanSnap iX1300
ScanSnap iX500、ScanSnap iX100、ScanSnap S1300i、ScanSnap S1100、ScanSnap SV600

機能概要

・ScanSnap でスキャンした結果を『スマート・ストレージ』にアップロードできます。
・レシートの場合、スキャンした内容を自動的に読み取って取引情報を作成します。
※読み取った内容が正しいことを確認した上で保存してください。
・領収書または請求書の場合、取引情報は作成されません。手入力をお願いします。

注意事項

・電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応する際は、事務処理規定を備え付けて運用してください。
事務処理規程のサンプルは、国税庁のサイトをご参照ください。
https://www.nta.go.jp/law/joho-zeikaishaku/sonota/jirei/0021006-031.htm
・ScanSnapHome はサーバーOS では利用いただけません。
・ScanSnap Home で e-文書モードを設定した場合、スマート・ストレージのファイル管理ツールでスキャンすると通常モードに戻ります。
e-文書モードを使用する場合は、ScanSnap Home をご利用ください。

第 2 章 ScanSnap 連携設定方法

前提条件

・Windows 管理者アカウントで利用してください。

・e-PAPクラウド『スマート・ストレージ』ファイル管理ツールVer9.0 以降をインストールしてください。

・ScanSnap Home Ver2.5 以上で正しく動作します。以下の URL から ScanSnap Home の最新版をダウンロードしてください。

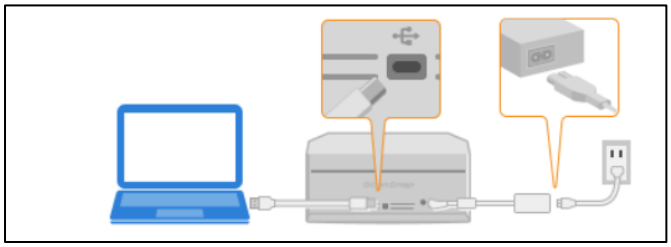
http://scansnap.fujitsu.com/jp/dl/

・ScanSnap Manager がインストールされている場合は、アンインストールが必要です。

ScanSnap 本体の準備

・本体付属の『ScanSnap スタートアップガイド』を参考に、ScanSnap 本体の準備を実施してください。

・電源コードを本体に接続し、カバーを開きます。（自動で電源が入ります）



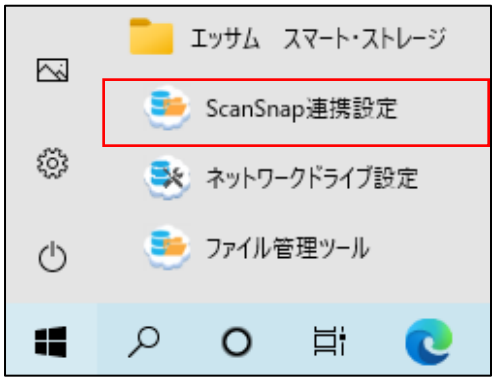
・iX2500（推奨機種）の場合は、本体画面（タッチパネル）の指示に従って、初期設定をおこなってください。

・設定が完了したら「接続完了」と表示されます。

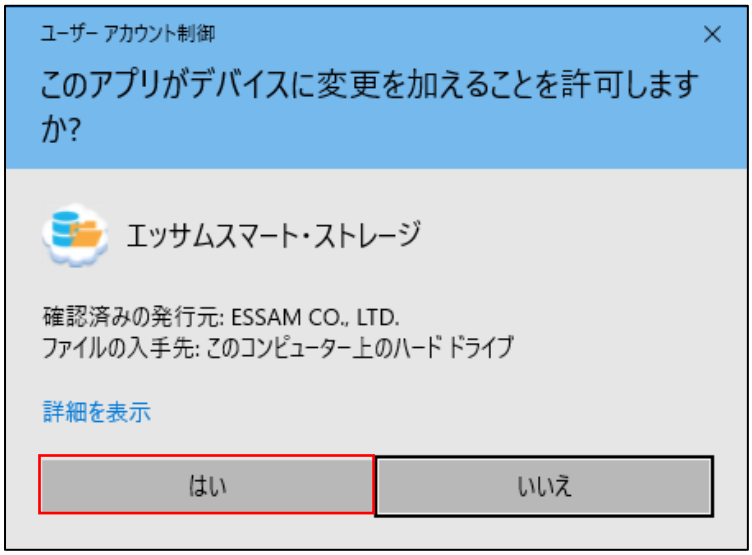
・最新機種の ScanSnap は、エッサムで販売しております。最寄りの営業所にお問い合わせください。

事前準備

①スタートメニューから[ScanSnap 連携設定]をクリックしてください。

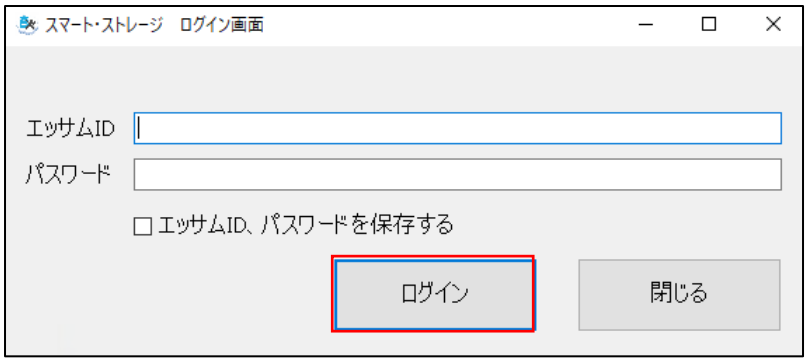


②[はい]を選択してください。

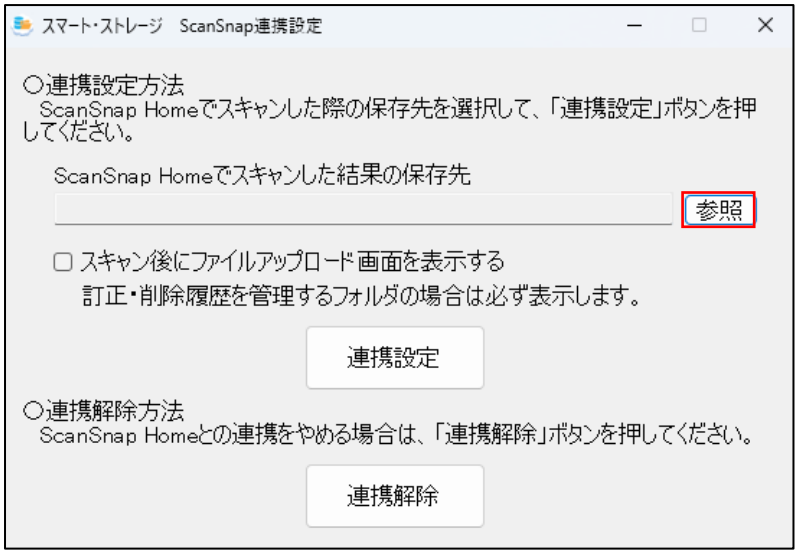


※前提条件を満たしていない場合は設定することができません。

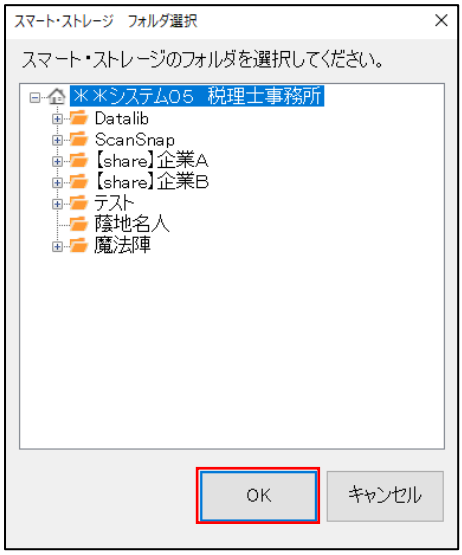
③エッサム ID とパスワードを入力しログインしてください。



④[参照]をクリックしてください。



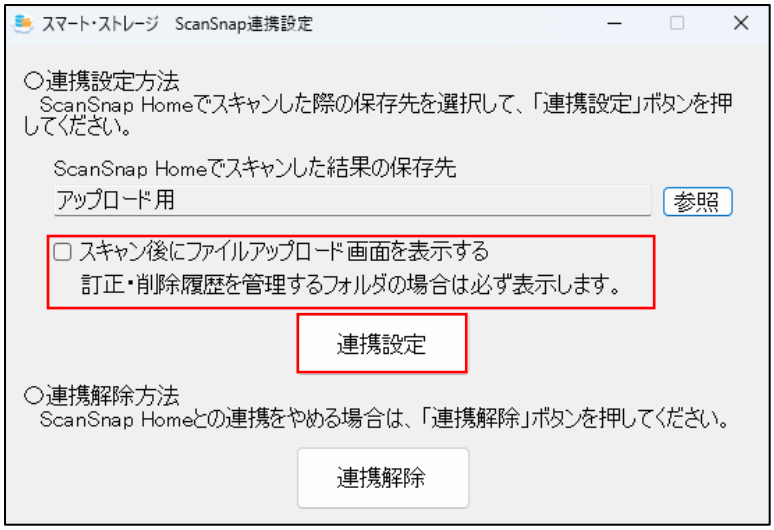
⑤スキャンする画像の保存先を指定して[OK]をクリックしてください。



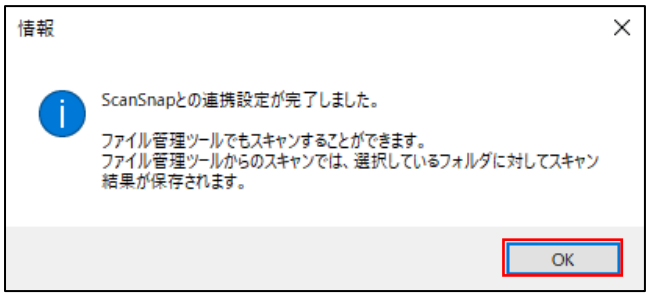
⑥[連携設定]をクリックしてください。

※スキャン後に保存するフォルダを変更する場合は、

[スキャン後にファイルアップロード画面を表示する]にチェックを入れてください。

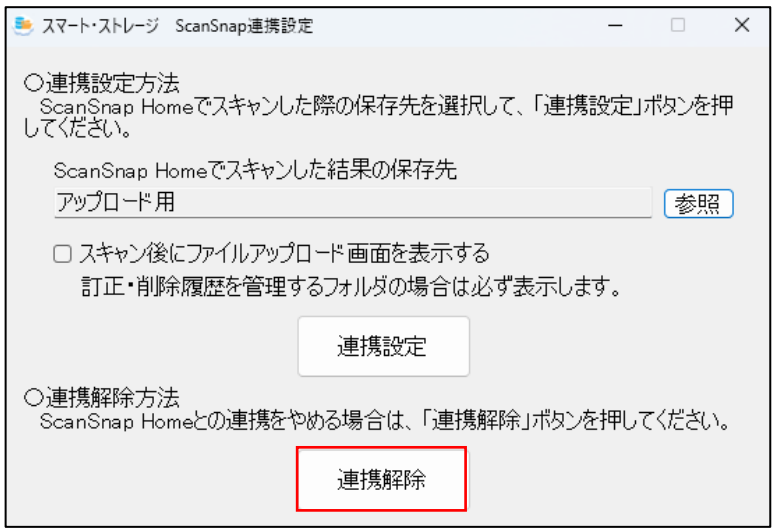


⑦連携設定完了です。



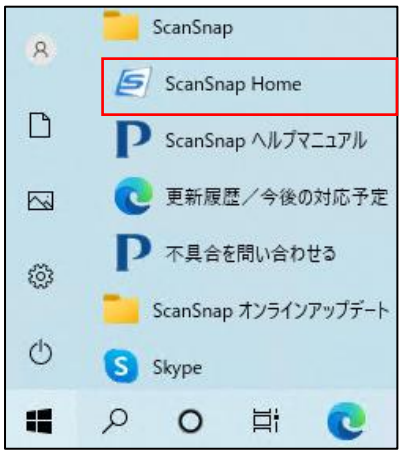
ScanSnap 連携を解除する場合

ScanSnap 連携設定画面で[連携解除]をクリックしてください。



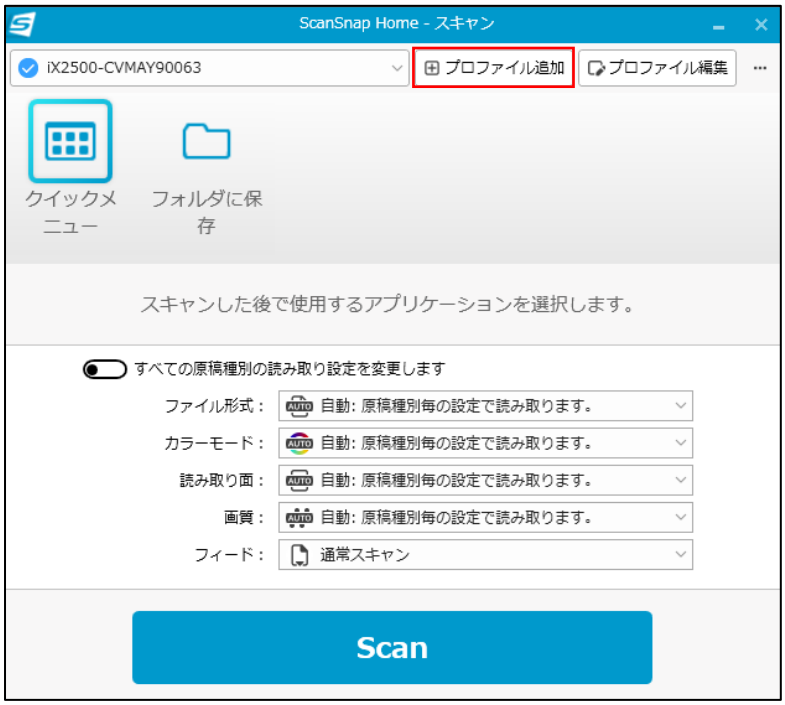
ScanSnap Home プロファイル設定

①スタートメニューから[ScanSnap Home]をクリックしてください。

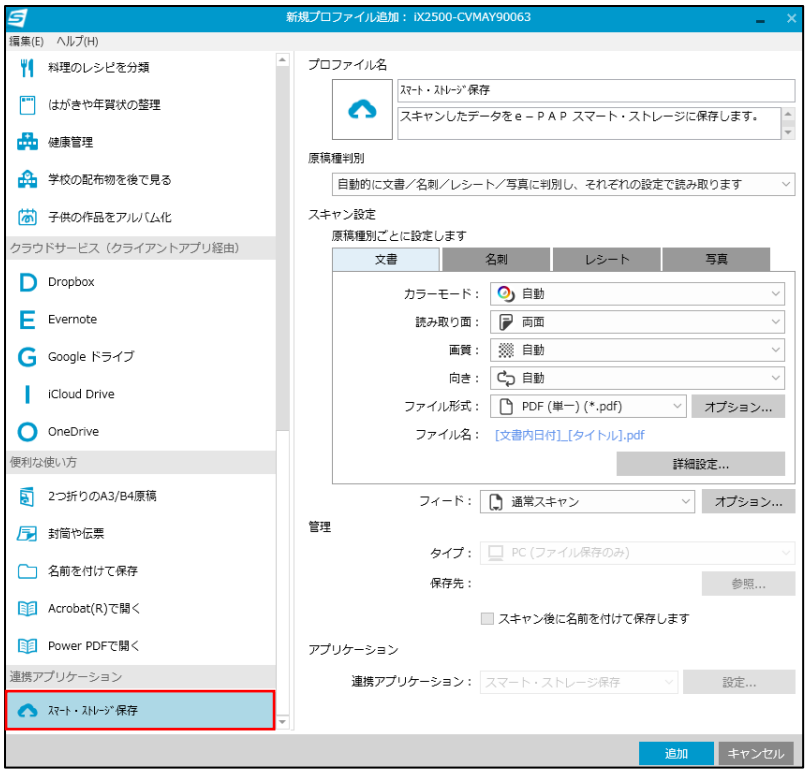


②左上の[スキャン画面を開く]ボタンをクリックしてください。

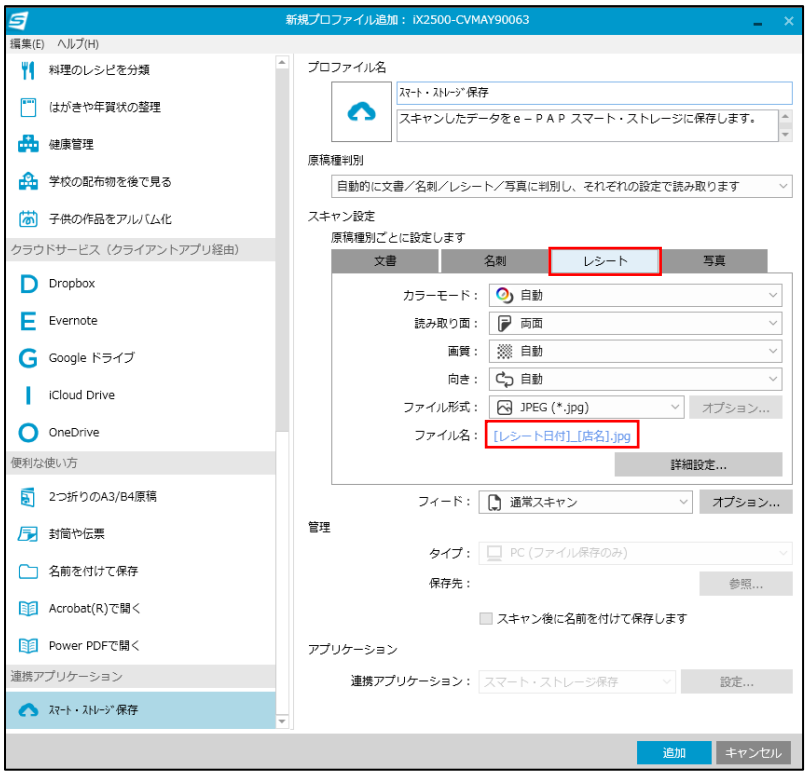
③右上の[プロファイル追加]ボタンをクリックしてください。



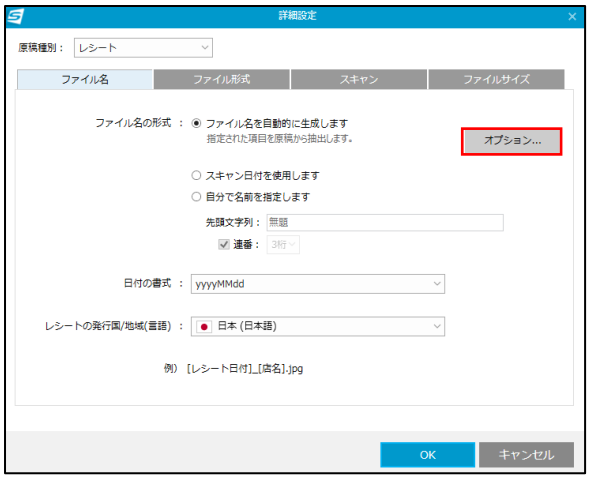
④[スマート・ストレージ保存]を選択してください。



⑤[レシート]タブを選択してファイル名の[[レシート日付]_[店名].jpg]をクリックしてください。

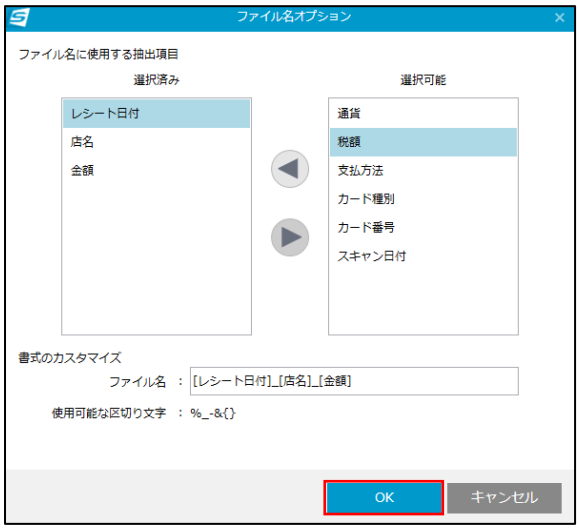


⑥[オプション]をクリックしてください。



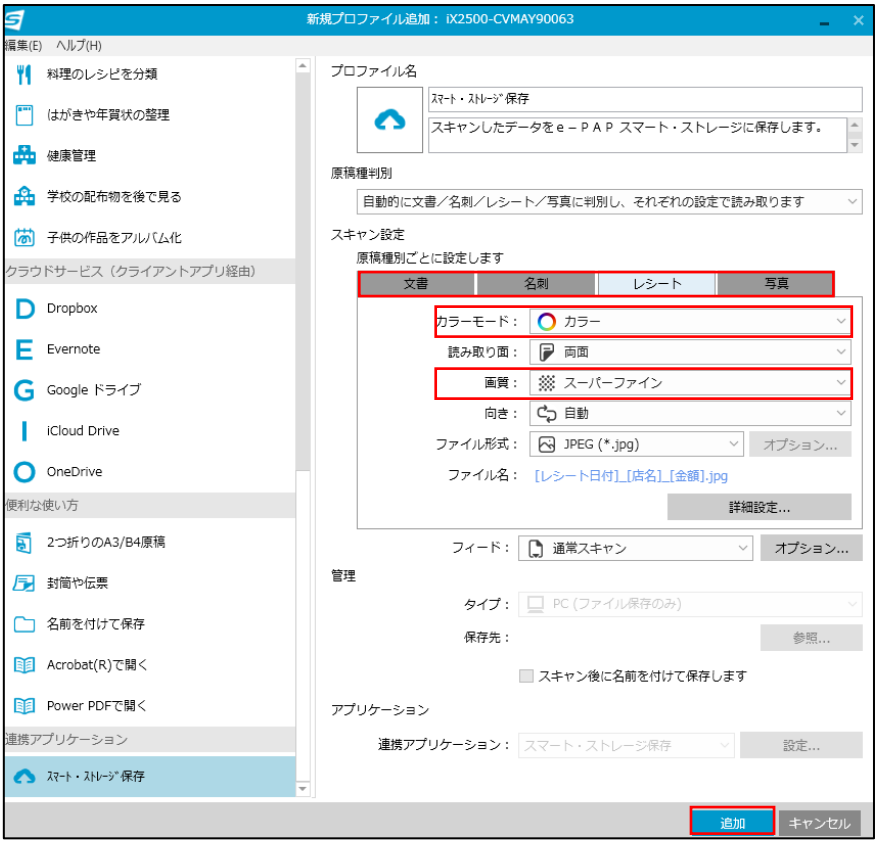
⑦[金額]を選択して左矢印をクリックしてください。

⑧金額が追加されたら[OK]をクリックしてください。

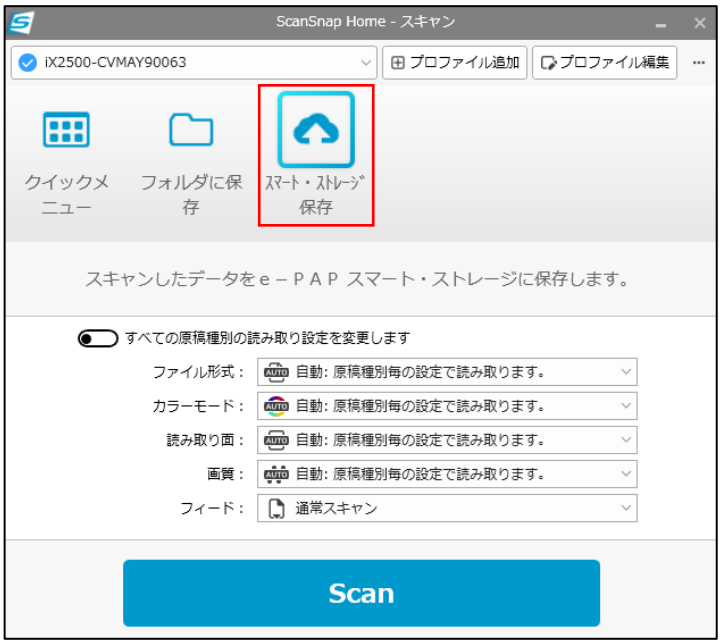


⑨[追加]をクリックしてください。

※読み取り精度を向上させたい場合、カラーモードを「カラー」に、画質を「スーパーファイン」に指定してください。名刺、レシート、写真にタブを切り替えて同様に設定してください。



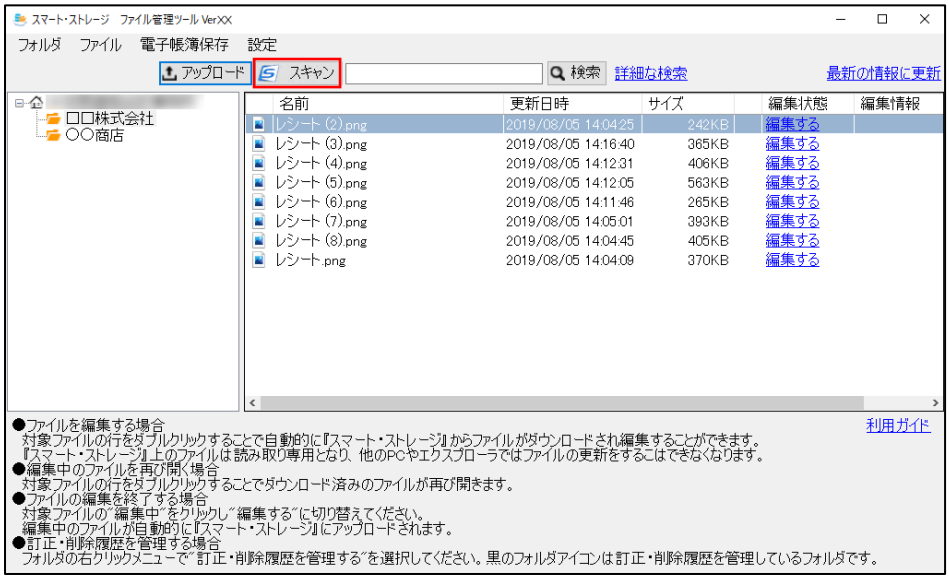
⑩[スマート・ストレージ保存]が追加されます。



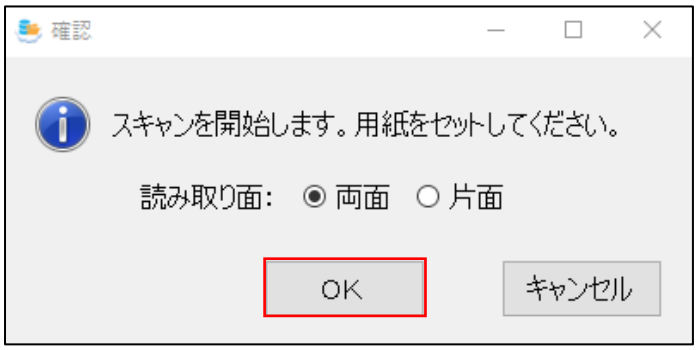
第 3 章 スキャン方法

ファイル管理ツールからスキャンする場合

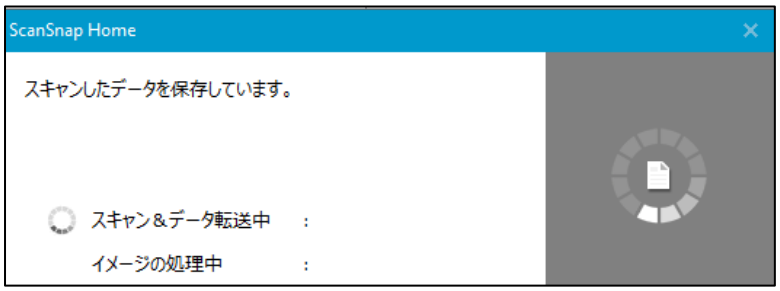
①アップロードするフォルダを選択し、画面左上の[スキャン]をクリックしてください。



②ScanSnap に紙をセットし、読み取り面を両面か片面かを選択して[OK]をクリックしてください。

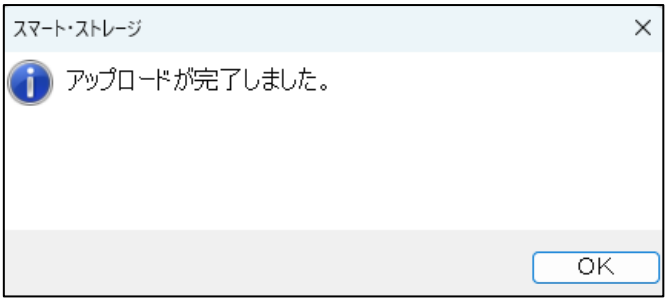


③データの転送画面に遷移します。

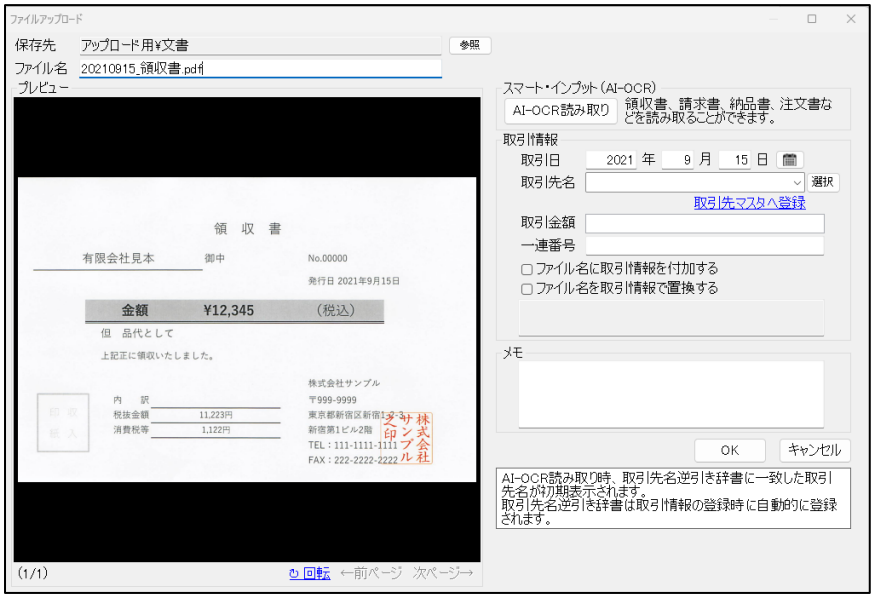


④プログレスバーが表示されます。

⑤[OK]をクリックしてください。

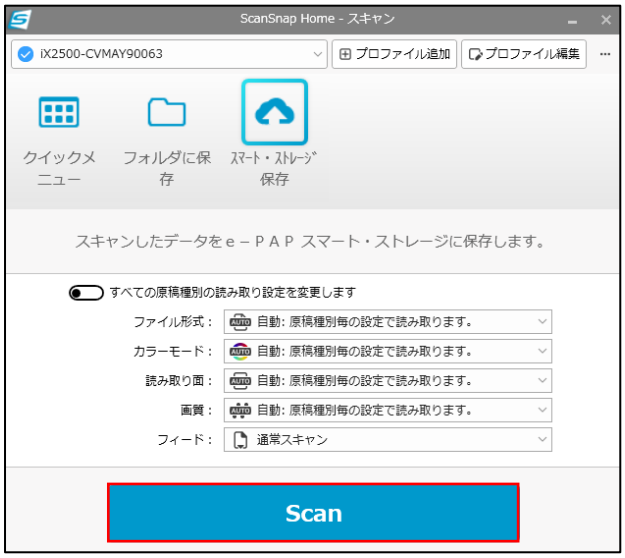


ScanSnap 連携設定画面で[スキャン後にファイルアップロード画面を表示する]にチェックを入れた場合、アップロード画面が表示されます。

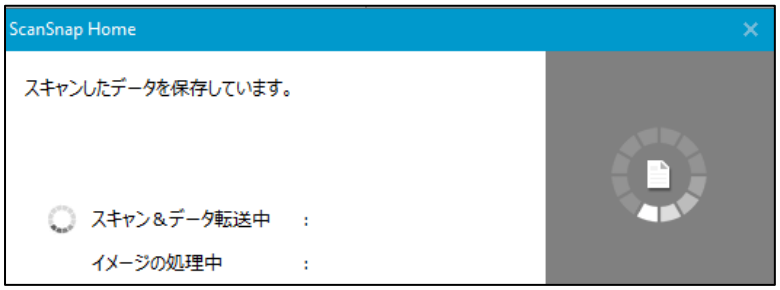


ScanSnap Home からスキャンする場合

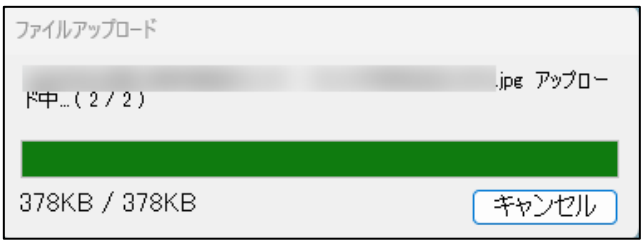
①ScanSnap の本体に紙をセットし、スキャンボタンを押します。



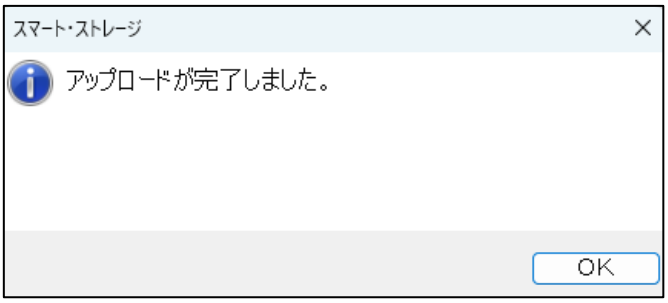
②データの転送画面に遷移します



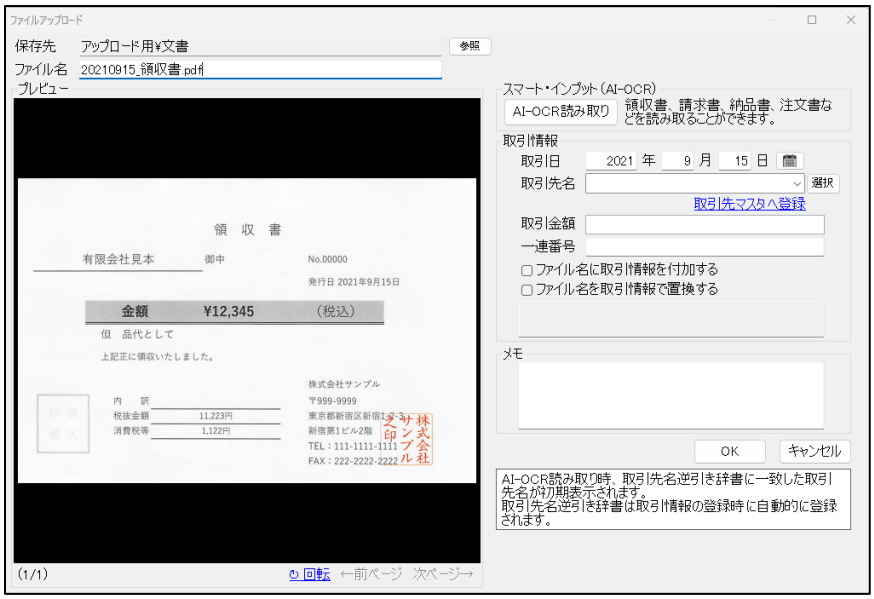
③プログレスバーが表示されます。



④[OK]をクリックしてください。



ScanSnap 連携設定画面で[スキャン後にファイルアップロード画面を表示する]にチェックを入れた場合、アップロード画面が表示されます。※保存先を変更する場合は[参照]をクリックしてください。



ScanSnap Home でスキャンした結果の保存先

連携設定画面で設定したフォルダに加えて文書タイプのサブフォルダが初期値で設定されます。

＜～¥レシート＞…ScanSnap でレシートと判定したデータの初期取り込み先。

＜～¥名刺＞…ScanSnap で名刺と判定したデータの初期取り込み先。

＜～¥写真＞…ScanSnap で写真と判定したデータの初期取り込み先。

＜～¥文書＞…ScanSnap で文書と判定したデータの初期取り込み先。

第 4 章 ScanSnap 活用事例

会計事務所でのペーパーレス化

職員のデスクに1台 ScanSnap を設置することで、席を立たずにスキャンでき、すぐにパソコンに表示することができます。

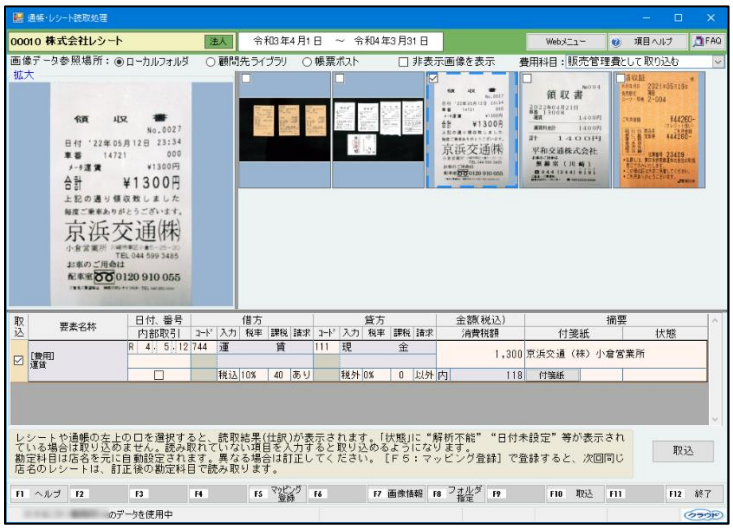
顧問先共有フォルダを経由したデータの受け渡し

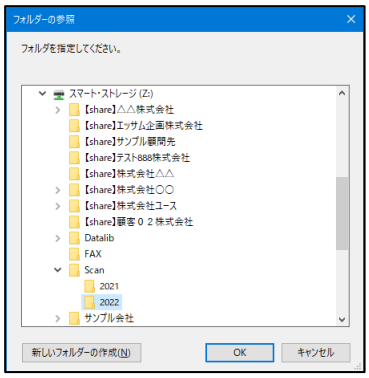
顧問先に ScanSnap を設置することで、顧問先側で顧問先共有フォルダに直接スキャンすれば事務所ですぐに書類が受け取れて便利です。

e-PAP 財務会計システム／通帳・レシート AI-OCR 機能の活用

通帳・レシート読取処理のフォルダ指定で直接スマートストレージを指定することで、e-PAP 財務でもすぐに読み取れます。

ScanSnap 連携設定の保存先と同じにすることで更に便利になります。





2025年6月（第2.1版）

株式会社エッサム